

生涯学習について

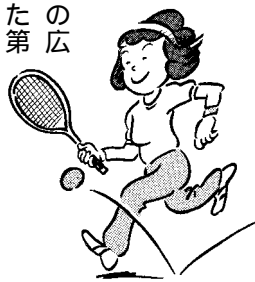


「生涯学習」と「広報」について みなさんの声を伺いました

市では、市民生活や行政にかかわる課題などについて広くみなさんの意見を伺い、その結果を市政に反映させるため、毎年、市政アンケートを行っています。今回は、いくつになっても生き生きと過ごすための「生涯学習」と市政情報を提供している「広報」について意見を伺いました。アンケートは、二十歳以上の市民から無作為に選んだ一万人を対象に行い、三千六百二人から回答(回答率三六・〇%)をいただきました。

だれもが、いつでも、どこでも学べる生涯学習

生涯学習は、幼児から高齢者まで、生涯にわたって生き生きと過ごせるよう、学校や社会の中でいろいろなことを学び続けようというものです。人は学ぶことによって生きる喜びや深い感動を覚え、その成果を人や社会に還元することによって心の広がりや豊かさを結実していきます。昨年十一月に四日市ドームを主会場に開催された第十二回全国生涯学習フェスティバルでも、日ごろの学習や活動の成果などが紹介されました。市では、「生涯学習推進計画四日市プラン」を策定し、だれもが、いつでも、どこでも学べる生涯学習を推進しています。



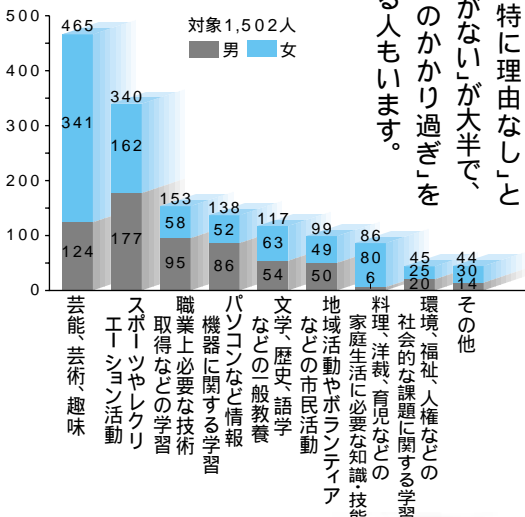
Q 生涯学習をしていますか？

半数近くの人が学習や活動
芸術、趣味、スポーツなどが人気

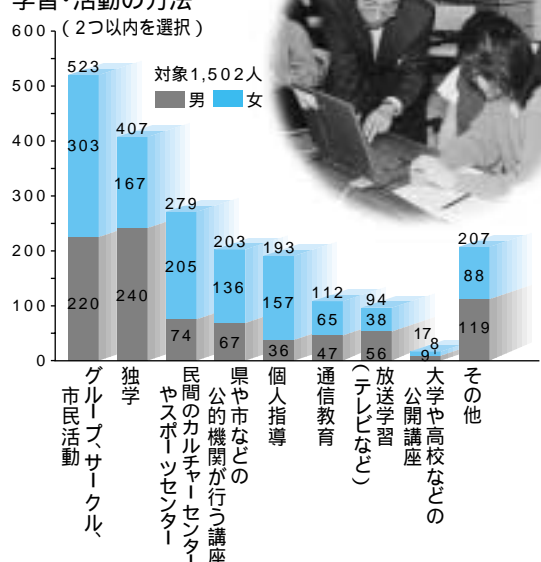
継続的に生涯学習をしている人は四二%、「していない」人は五五%と大きく分されました。「している」と答えた人は、男性で半数近く、女性では半数以上に上りました。活動の内容では、「芸術、趣味」が最も多く、それに続く「スポーツ、レクリエーション」と合わせ半数以上を占めています。そのほか、「職業上必要な技術取得」や「パソコン」などが、女性では、料理、洋裁、育児

など、家庭で必要な知識や技能が多くなっています(グラフ)。一方、していない人の理由は、「時間がない」が大半で、「経費のかけ過ぎ」を挙げる人もいます。

グラフ 現在行っている主な学習や活動



グラフ パソコン教室 学習・活動の方法

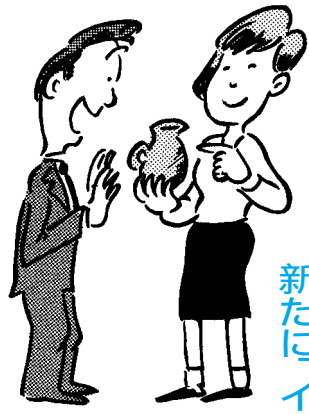


Q どんな所で、どんな方法でしていますか？

多くはグループなどで仲間と学習
自宅での独学も自立

活動の方法は、「グループ、サークル、市民活動」など仲間との学習が最も多く、次に「独学」、「民間のカルチャー・スポーツセンター」となっています(グラフ)。活動の場所は、「自宅」が最も多く、次いで「民間施設」や「地区市民センター」、「指

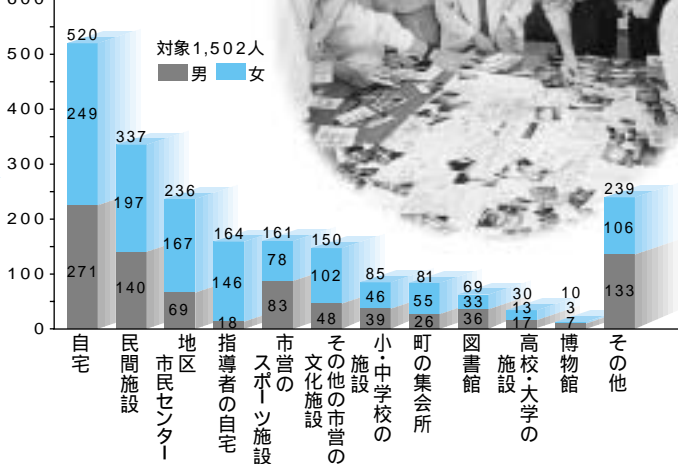




Q 学びの情報をどうやって入手？

情報の入手は、「友人、知人、同僚、家族」からが半数を超えて最も多く、特に女性では六割近くに上り、人との交流を通じた情報伝達

グラフ 学習・活動している場所 (2つ以内を選択)



まちづくり



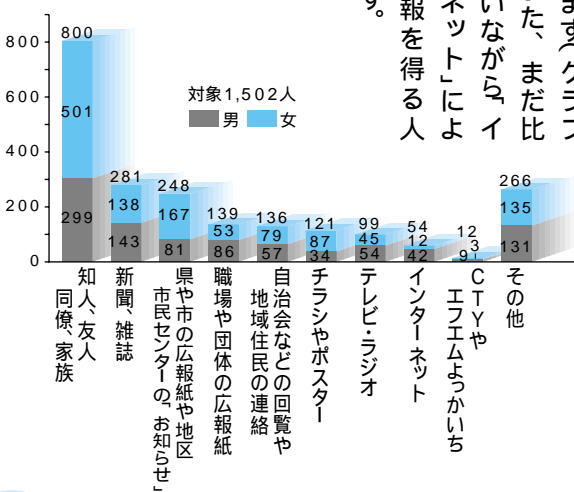
「導者の自宅」、「市営の施設が続きます(グラフ)」。今回注目されるのは、活動の場所が「自宅」がトップを占め、学習方法で「独学」が二位になっていることで、趣味やパソコンなど、自宅ですることができるものが多くなっていることがわかります。性別では、男性は「独学」、「自宅」での学習が最も多く、次いで、「民間施設」が続きます。女性では「グループ、サークル、市民活動」や「民間のカルチャー・スポーツセンター」を通しての活動が多く、その場所も、「自宅」に次いで、「民間施設」、「地区市民センター」、「指導者の自宅」が続き、仲間や地域とのつながりを持って学習している様子が見えます。

Q これから学びたいものは？

趣味・スポーツからボランティア活動まで 多分野に広がる関心

今後やってみたいものとしては、「芸能、芸術、趣味」が最も多く、「パソコンなどの技能取得」が二位で、パソコンへの関心が高まっています(グラフ)。「楽しくない」は少数派にとどまりました。また、「職業上の技術取得」、「文学、歴史、語学などの一般教養」、「家庭生活に必要な知識、技能」、「地域活動、ボランティア活動」などの希望も多く、市民の関心はさまざまな分野に広がっています。

グラフ 学習や活動のきっかけとなった情報の入手先 (2つ以内を選択)



「県・市の広報紙、地区市民センターのお知らせ」が続きます(グラフ)。また、まだ比率は低いながらも「インターネット」によって情報を得る人もいます。

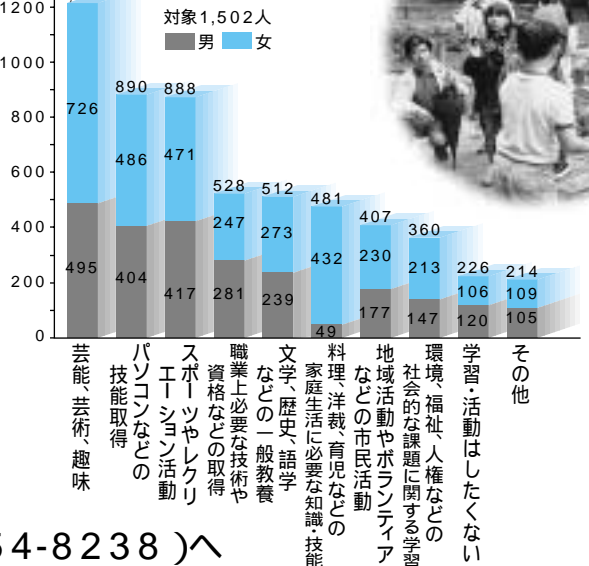


スポーツ

環境学習



グラフ 今後習いたい学習・活動の種類 (2つ以内を選択)



心豊かな暮らしを目指し、生涯学習を推進 初心者向けのパソコン講習も開催

市では今回のアンケート結果を基に、現在進めている生涯学習推進計画について、急速に変化する社会の状況や市民のニーズに対応できるよう、具体的な施策の見直しをしていきます。高まっているパソコンへの関心に対しては、国のIT(情報技術)施策による補助金の交付を受け、約一万二千人の初心者を対象にパソコン講習(折り込みの案内参照)を実施します。また、生涯学習の情報は、「広報よっかいち」や市の広報番組、地区市民センターの「お知らせ」、新聞・雑誌などでお知らせするほか、インターネット上でホームページも開設し、みなさんが利用しやすいよう提供していきます。これからも、みなさんが仲間や地域とのつながりを深め、人生を心豊かに過ごせるように生涯学習の推進を図っていきます。

身近な市政情報は「広報紙から」 ラジオ、テレビからも幅広く視聴

市民のみなさんへの市政情報提供は、「広報よっかいち」、ケーブルテレビ、民間テレビ、FMラジオ、電話・ファクス、インターネットなど、さまざまな媒体を通じて行っています。

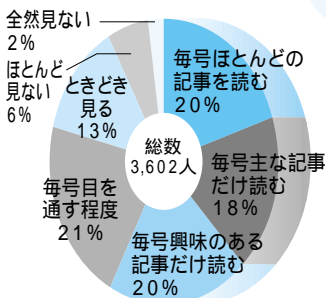
広報について

Q 「広報よっかいち」を読んでいますか？

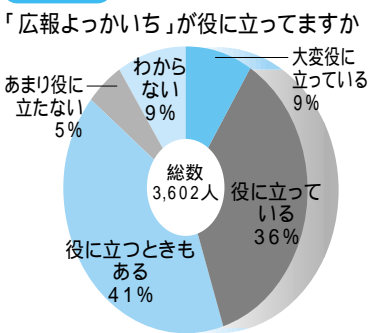
79%の人が毎号読んでいます

回答をいただいた人のうち、七九%の人が毎号読んでおり(グラフ)、年代別では高齢者ほどの割合が高くなっています。また、読んでいる人の四五%が「役立つ」と答え、「何らかの形で役立つ」を入れると、大半の八六%の人が市民生活に役立つとしています(グラフ)。

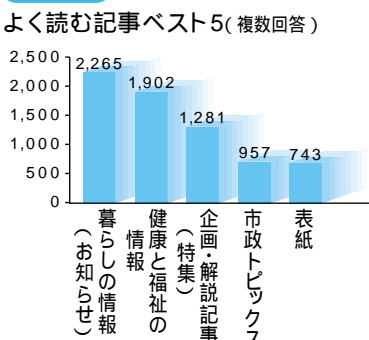
グラフ 「広報よっかいち」の読まれ方



グラフ 「広報よっかいち」が役に立っていますか



グラフ よく読む記事ベスト5(複数回答)



よく読まれる記事は、催し、スポーツ、講座、年金、税金などを案内する、暮らしの情報

市の情報発信源

広報よっかいち	毎月5日・20日発行
よっかいち	月曜～土曜日 11:15～20:40～ 日曜日 9:15～15:00～22:00～
四日市	毎月第2日曜日 9:00～9:15 再放送 翌土曜日 9:15～9:30
朝の市	毎月第3木曜日 7:15ごろ～(約10分間)
FM76.9	月曜～金曜日 7:54～12:10～ 14:15～18:25～ (3月から20:40に時間変更予定) 土曜日 8:54～13:30～ 17:25～19:54～ 日曜日 7:54～8:54～
ホームページ	http://www.city.yokkaichi.mie.jp
テレホン・FAXガイド	☎55-5100 (24時間年中無休)

Q 市政情報番組を視聴していますか？

ケーブルテレビ(CTY)で高視聴

市広報番組「ちゃんねるよっかいち」(CTY10チャンネル・一番組を週十五回放送)について、全体では知っている「が八五%、見たことがある「が六九%で(グラフ)、そのうちCTY利用者では見たことがある「が八三%と、よく知られ、見られています。また、同番組の市民レポーターについては、全体の半数以上が、また、番組を見たことがある人の約七〇%が「よい」と答え、おおむね好評です。市PR番組「E夢四日市」(三重テレビ・第二日曜日放送、翌土曜日再放送)については、全体では「知っている」が五八%、「見たことがある」が三九%で、「知らないし、見たこともない」が四二%でした(グラフ)。

報」が最も多く、次いで検診や予防接種、育児相談などを案内する「健康と福祉の情報」、「特集」と続きます(グラフ)。特に「暮らしの情報」は、男女や年代などの別なく最も広く読まれており、生活に直接結びつく情報に関心が高いことが分かります。また、表紙のイラストも好評です。

アンケートの自由回答欄から

私の住む地区ではCTYの番組を見ることができません。地域によって差があるのは、不公平ではありませんか。

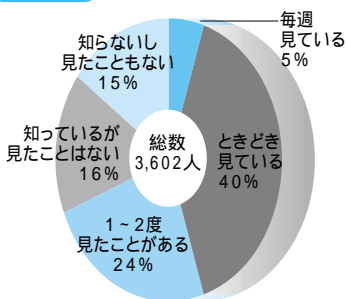
CTYの10chは、市の広報番組以外にCTYの独自番組を放映しており、約85,000世帯・市全体の80%の地域でご覧いただくことが可能になっています(地図赤色部分。現在工事中または工事に時間のかかる地域を含む)。

CTYの番組を見ることが可能な地域
テレビ共同受信地域

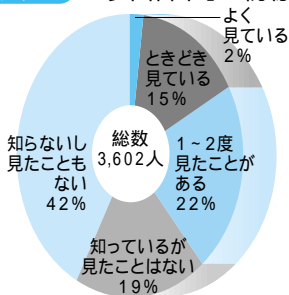
それ以外の部分(地図灰色部分)でも、ほとんどの地域で市の広報番組と市議会中継を、本放送と同じ時間に見ていただいています。CTYのケーブルがつかないと、放送やケーブルインターネットをご利用いただけようになりません。CTYでも、この地域に平成14年をめぐりにケーブルを引くための地元調整を始めているとのこと。



グラフ 「ちゃんねるよっかいち」の視聴状況



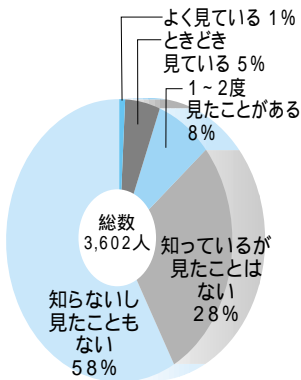
グラフ 「E夢四日市」の視聴状況





グラフ

市のホームページのアクセス状況



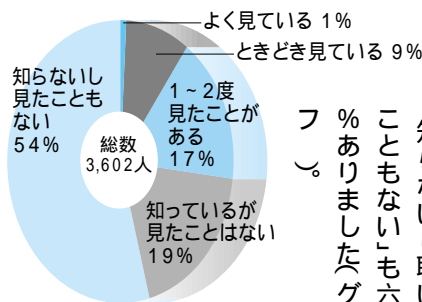
市のホームページがあることを、知っている人は全体では四二%ですが、「見たことがある」人は、

インターネットで見た人は14%

新しい情報提供サービスを利用していますか？

グラフ

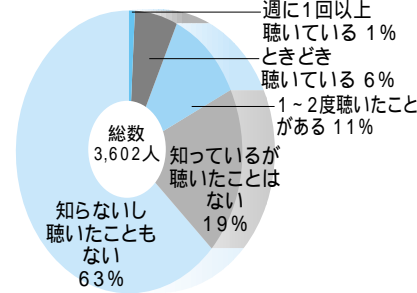
「朝イチ四日市」の視聴状況



「知らないし聞いたこともない」も六三%ありました。グラフ。

グラフ

「市役所発!丸ごとよっかいち」の聴取状況



市長が生出演し、市政の方向などを語る「朝イチ四日市」(三重テレビ・第三木曜日放送)について、全体では「見たことがある」が二七%、番組を知らないし、「見たこともない」が五四%(グラフ)で、年代別では高齢者ほど見ている人が多くなっています。

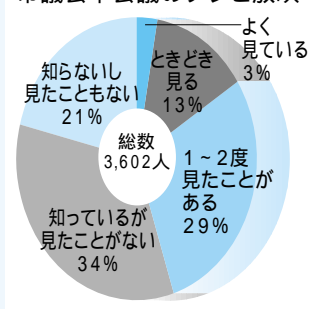
F Mラジオでの市政情報提供番組「市役所発!丸ごとよっかいち」(FMよっかいち76.8MHz・一日四回放送)は、「聴いたことがある」が一八%と低く、「知らないし聞いた

市議会のテレビ放映について

半数近くが「見たことがある」

グラフ

市議会本会議のテレビ放映

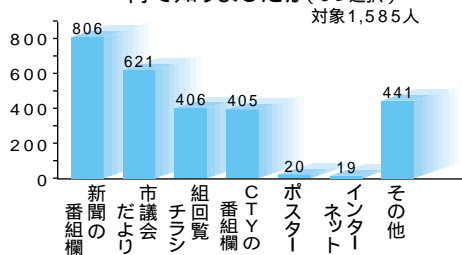


市議会のテレビ放映について、「見たことがある」が四五%、「知らない」が二二%(グラフ)。関心が高いことがうかがえます。見たテレビ局は「三重テレビ」が五二%、「ケーブルテレビ(CITY)」が二二%、「両方」が二七%です。また、放映を知ったのは、新聞のテレビ番組欄からが最も多く、次いで、市議会だより」となっています(グラフ)。

市議会の中継について、詳しくは議事課(☎54-8258)にお問い合わせください。

グラフ

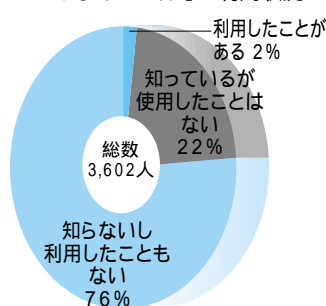
市議会本会議のテレビ放映を何で知りましたか(3つ選択) 対象1,585人



まだ一四%にとどまっています(グラフ)。しかし、インターネット利用者では「知っている」が五八%、「見たことがある」が二七%あって、情報化が進むにつれ、利用者が増えることが予想されます。そのため、インターネットを公的施設で利用できるようにするなどの検討を考えていきます。

グラフ

「さるびあコール」の利用状況



電話・ファクスによる二十四時間対応の市政情報案内サービス「さるびあコール」を、全体では「利用したことがある」が二%、「知らない」が七六%あります。家庭でのファクス利用者に限っても、「利用した」は四%ですが、急病時の診療先の照会など、いざという時には欠かせないサービスです(グラフ)。

電話・ファクスによる二十四時間対応の市政情報案内サービス「さるびあコール」を、全体では「利用したことがある」が二%、「知らない」が七六%あります。家庭でのファクス利用者に限っても、「利用した」は四%ですが、急病時の診療先の照会など、いざという時には欠かせないサービスです(グラフ)。

各媒体の内容を二層充実し 広く、効果的に市政情報を提供

アンケートの結果を見ると、広報紙は認知度・利用度ともに高く、特に生活にかかわる情報の利用度が高いことから、今後もより一層内容の充実を図り、引き続き利用されるようにしたいと思います。また、幅広い年代のみなさんに親しまれるよう、より分かりやすく、より魅力的な紙面づくりに努めていきます。

ラジオ・テレビのうち、ケーブルテレビは認知度・利用度ともに高くなっていますが、全体としてさらに番組の存在を知られるようにし、より視聴の機会を増やしたいと思います。

インターネットでは、市のホームページの存在は次第に知られてきましたが、実際にアクセスつないで見る割合はまだ低いようです。しかし、インターネットは今後一層の普及が予想されるため、ホームページの内容をより充実していきたいと考えています。